

松田 武雄

原文の「3. Sampling filter としての比較」において第 1 表に示した各式の操作を重みをつけた Sampling として示した。このさいもとの函数を

$$\frac{C_0}{k} \left(\Delta g(0) + \frac{C_1}{C_0} \Delta g(S_1) + \frac{C_2}{C_0} \Delta g(S_2) + \dots \right)$$

で表わしたときの Sampling filter としての特性曲線を、

$$1 + 2 \sum_i \frac{C_i}{C_0} \cos 2\pi \frac{S_i}{\lambda}$$

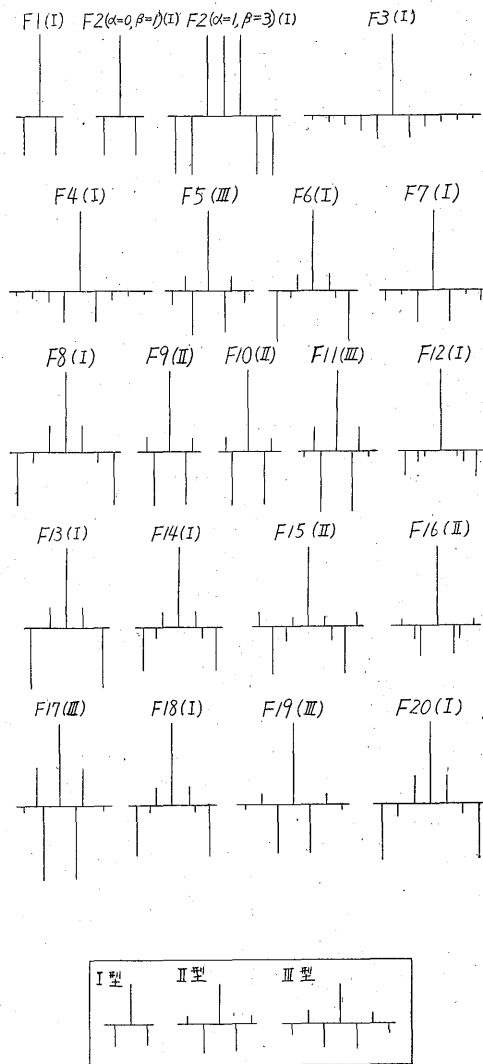
として計算したが、この問題においては

$$1 + \sum_i \frac{C_i}{C_0} \cos 2\pi \frac{S_i}{\lambda}$$

とするのが適當であつた。

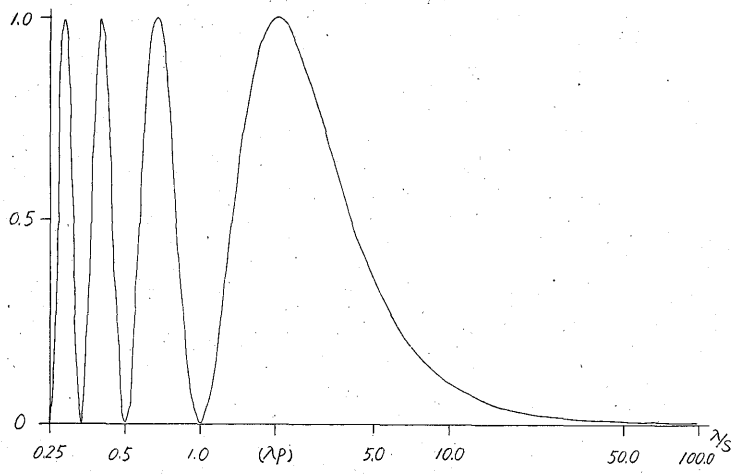
したがつて、原文の第 1 図に示した Sampling filter として表わした各計算公式を本文の第 1 図のように、また原文の第 2 図～第 7 図に示した特性曲線を本文の第 2 図～第 7 図のようにそれぞれ訂正していただきたい。

しかし結論については変更の必要はないと考えられる。

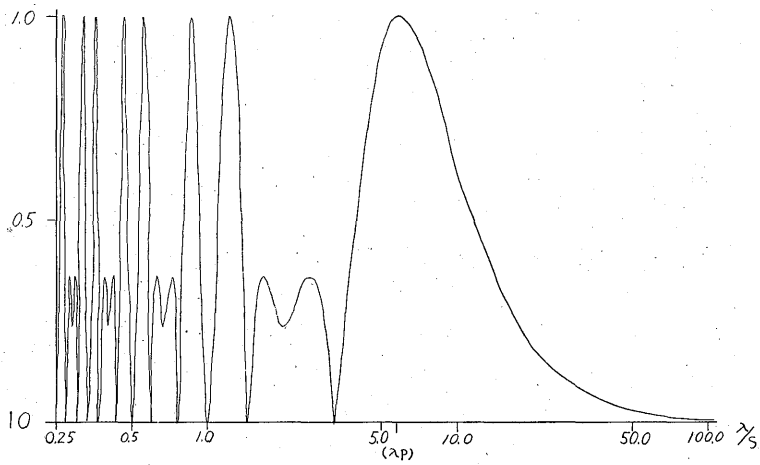


第 1 図 Sampling filter として表わした各計算公式

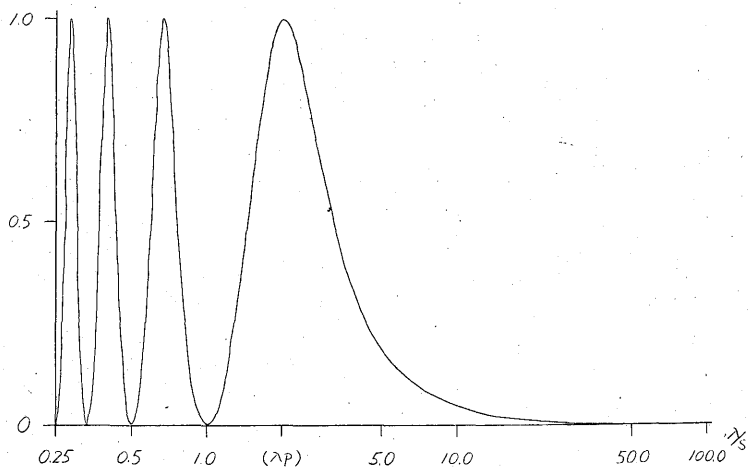
- | | |
|--|---|
| F 1: (余剰動力) | F 11: Henderson & Zietz ($\partial^2 g / \partial z^2$) |
| F 2: (") | F 12: Elkins (") |
| F 3: Evjen ($\partial g / \partial z$) | F 13: Elkins (") |
| F 4: 坪井 (") | F 14: Elkins (") |
| F 5: 加藤 (") | F 15: Peters (") |
| F 6: 加藤 (") | F 16: Rosenbach (") |
| F 7: 加藤 (") | F 17: 加藤 (") |
| F 8: 加藤 (") | F 18: 加藤 (") |
| F 9: Henderson & Zietz ($\partial^2 g / \partial z^2$) | F 19: 加藤 (") |
| F 10: Henderson & Zietz (") | F 20: 加藤 (") |



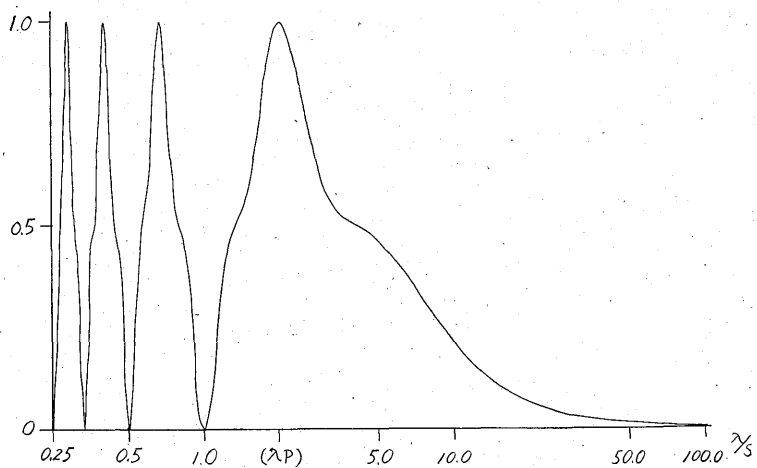
第2図 $F_2 (\alpha=0, \beta=1)$ の特性曲線



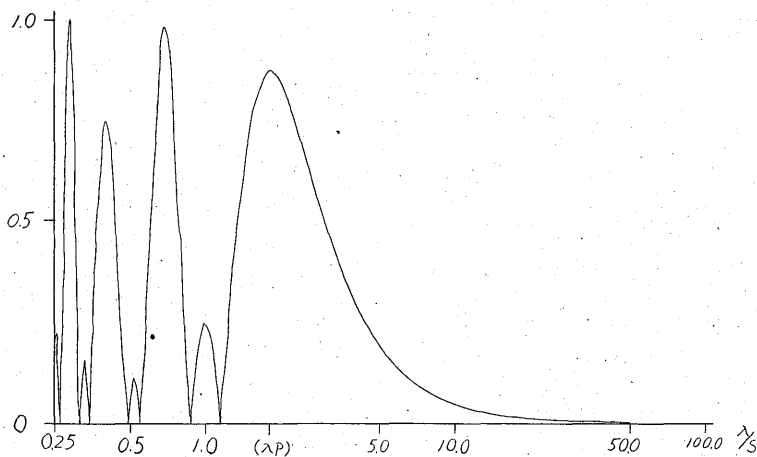
第3図 $F_2 (\alpha=1, \beta=3)$ の特性曲線



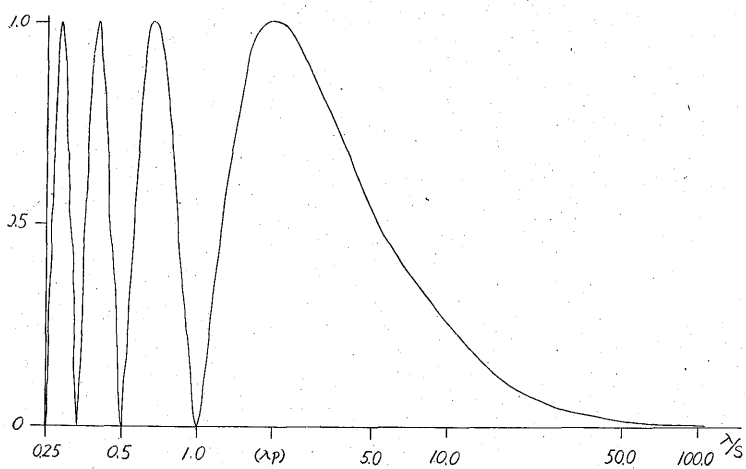
第4図 F_4 の特性曲線



第5図 F7 の特性曲線



第6図 F9 の特性曲線



第7図 F19 の特性曲線